

ベネッセSTEAMフェスタ2022

プレインタビュー 第4回

全国の中高生が探究や研究の内容を発表し、意見を交換して、多様な人と学び合う「ベネッセSTEAMフェスタ」。
3月19日(土)26日(土)の開催に先駆けて、エントリーしたチームを紹介します。

岡山県 岡山中学校・高校

チーム名 Mict (ミスト) 発表タイトル「メイク×国際化」

笑顔の世界に！「メイク」で心のバイアスをなくしたい

Q. 探究テーマを選んだ理由は？

メンバー 昨年の「ベネッセSTEAMフェスタ」に参加した先輩の課題意識に共感し、「笑顔の世界に」をテーマに活動しています。国際化が進んで外国とのかかわりが増えていますが、思い込みや偏見から生じる差別が国際理解の妨げになっていると感じています。そうした心のバイアスを取り除き、差別をなくして、世界中に笑顔を増やすことを目指しています。

Q. 探究の内容や発表の見所を教えてください！

メンバー まず注目したのは、「メイク(化粧)」です。海外では性別にかかわらず、メイクをする風潮がありますが、日本では、「メイクは女性がするもの」と捉えている人が大半です。そこで、女性と男性と一緒にメイクをする機会を設けることで、無意識のうちにしている思い込みや偏見を意識するきっかけになるのではないかと考えました。

その一歩として、地域の小学生を対象に各国のメイク体験を通じて、異文化理解や多様性について考えるワークショップを行いました。クイズ形式の事後アンケートの結果を見ると、小学生でも性別意識に対して疑問を抱き、思い込みや偏見について考えた様子が伝わってきました。ほかにも、多様な人の考えに触れて理解したいという思いから、地域の任意団体と一緒にSDGsの関連映画の上映会を運営したり、子どもたちと歌や踊りのイベントでつながったり、様々な活動に取り組んでいます。

それらの活動を通じて、私たち自身にも様々な思い込みがあることに気づきました。同時に、その心のバイアスをなくして行動することの難しさも実感しました。そうした課題意識を次の活動につなげたいと考えています。

Q. フェスタへの期待を一言！

メンバー 今回の発表を機に、「笑顔の世界に」をテーマとした活動を振り返り、ますます充実させていきたいです。他校の生徒とつながり、理解し合える関係を広げるとともに、皆さんの発想や意見を自分たちの活動に取り入れていきたいと思っています。

チームメンバー



メンバーは高校2年生3人。チーム名の「Mict」は、ウクライナ語で「架け橋」を意味します。

発表スライド

8月2日コンベンションセンター ワークショップ



地域のコンベンションセンターで、小学生を対象にしたワークショップを2回行いました。韓国風や中国風など、世界のメイク体験を楽しむ中で、子どもたちがメイクに対する自分の意識に疑問を持ち、価値観が変化していく姿が印象深かったです。



先輩の構想をうまく生かし、
まず動いていたチーム。
実践の大切さを、改めて実感しています。

指導担当 林 秀俊先生

多方面にチャレンジして、
多様な気づきを得ていく姿が
素晴らしいです！

ベネッセ事務局 芦野恒輔



今回で13回目となる「ベネッセSTEAMフェスタ」には、全国の中学・高校から110チーム約280人がエントリー。
多種多様な分野から発表されます！ 詳しい開催概要は、下のURL、または右の2次元コードからアクセスしてご覧ください。

<https://steamfesta.benesse.co.jp/>

